

○水生生物モニタリング調査結果一覧（いわき市沖M）

<いわき市沖M 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
Mー2	○	○	○	○	○	○

<いわき市沖M 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
Mー2 (表層)	37. 1996°	141. 0853°	R5. 6. 17	07:20	07:35	20. 1	18. 1	シルト混砂	5Y4/2	貝殻	41. 5	17. 0
Mー2 (下層)				06:55		16. 2						

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
Mー2 (表層)	37. 1996°	141. 0853°	R5. 6. 17	07:20	8. 2	<0. 5	1. 7	8. 2	4850	33. 73	1. 0	<1	0. 5	N. D. (0. 0013)	0. 0022	－
Mー2 (下層)				06:55	7. 9	<0. 5	1. 8	6. 0	4910	34. 37	0. 9	<1	0. 9	N. D. (0. 0012)	0. 0049	0. 00083

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)			
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)						
調査地点																								
Mー2	37.1996°	141.0853°	R5.6.17	07:35	7.7	344	25.1	2.1	1.0	2.750	0.0	0.6	2.5	91.2	2.1	3.6	0.15	4.8	0.35	14	N.D.(0.14)			

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<いわき市沖M 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
M-4	久之浜沿岸	－	－	R5. 6. 16	節足動物	軟甲	シヤコ	シヤコ	<i>Oratosquilla oratoria</i>	シヤコ	1	0. 055	成体	－	－	N. D.	N. D. (0. 75)	N. D. (0. 78)	－
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	フサカサゴ	<i>Sebastes cheni</i>	シロメバル	6	0. 33	未成魚	－	－	0. 86	N. D. (0. 22)	0. 86	－
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハナハシ	<i>Sebastes schlegelii</i>	クロソイ	1	0. 038	未成魚	－	－	1. 5	N. D. (1. 2)	1. 5	－
					脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu snyderi</i>	ショウサイフグ	27	0. 27	未成魚	－	－	0. 37	N. D. (0. 24)	0. 37	－

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、 除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。